

沖縄県出身の與古田さん 協力隊に

家族3人で妹背牛に移住した與古田さん一家



沖縄県出身の與古田史帆（よこた・しほ）さんが8月1日、妹背牛町の地域おこし協力隊に着任しました。沖縄料理の飲食店開業を目指します。

與古田さんは、北海道の涼しい気候とおいしい食材を求めて、妹背牛町に移住。夫と長男の家族3人で新たな生活を始めました。

調理師免許を持ち、ホテルや飲食店での勤務経験があることから、北海道民の舌に合う沖縄料理の味の研究や食材を吟味し、飲食店の開店に向けて活動していきます。

富山県入善町からジャンボスイカ

ジャンボサイズのスイカ割りを楽しむ園児



認定こども園妹背牛保育所に今年も、町と交流のある富山県入善町の特産品「入善ジャンボ西瓜」が届き、園児たちが夏の味覚を味わいました。

町の無形・有形文化財に指定されている獅子舞のルーツが入善町にある縁で、両町は20年以上前から地元の農産物を贈り合う交流が続いています。

スイカは長さ約40センチ、重さ約20キロ。園児たちは、力いっぱい棒を振り下ろしてスイカ割りを楽しんだ後、みずみずしい甘さのスイカを堪能しました。

堀込さん 消防救助の全道大会に出場

全道大会に向けて訓練に励んだ堀込さん



深川地区消防組合 深川消防署妹背牛支署の堀込駿太さんが、7月に札幌市で開かれた第53回「全道消防救助技術訓練指導会」に初めて出場しました。

堀込さんは同組合消防本部の代表として、長さ20メートルのロープを往復するタイムを競う「ロープブリッジ渡過」に出場。降雨の中、標準所要時間の28秒を上回る24秒を記録し、2カ月余りにわたる訓練の成果を発揮しました。

堀込さんは「雨の日もしっかりと対応できるよう、訓練を続けたいです」と話しています。

小学生が「ふまねっと運動」体験

わかち愛もせうしひろばで、ふまねっと運動を体験する児童



妹背牛小学校の4年生が7月9日、妹背牛の魅力を調べる総合学習の一環で町内各施設を見学しました。

このうち、わかち愛もせうしひろばでは、毎週水曜日に行われている「ふまねっと運動」を体験。参加していた高齢者に見守られながら、床に敷いたマス目の網を踏まないように歩きました。

体験後、児童はスタッフから施設の利用状況などを聞き取り、熱心にメモを取っていました。

空知の議員研修会 妹背牛で



スーパー運営の効率化について語る柴田社長

空知町村議会議長会の令和7年度「議員研修会」が7月16日、妹背牛町総合体育館で開かれました。議員ら約170人が、小型ディスプレイスーパーの地方出店を進める「ダイゼン」の柴田貢社長の講演に耳を傾けました。

柴田社長は、セルフレジの導入などで効率化を図り、1店舗当たり店員2人体制でスーパーを運営していると説明。その上で、高齢者の買い物を支える地方出店の意義を述べました。

生花リレーで花き産地をPR



生花を届けた定講支部長（左）と廣澤教育長

北空知6市町の花き生産者でつくる「北育ち元気村 花き生産組合」は、管内の各自自治体に生花を届ける「生花リレー」を展開し、花きの生産地をPRしました。

このうち、町内では妹背牛支部長の定講保男さんが7月14日に、地場産のHBS シネンシスやアナベルなどを組み合わせたフラワーアレンジメントを寄贈。色鮮やかな花が役場正面入り口を彩り、来庁者の目を楽しませました。

ミニバス「ソル・ベルテ」全道へ



全道大会への出場を決め、役場を訪問した選手たち

妹背牛、沼田、秩父別、深川（已）4市町合同のミニバスケットボールクラブ「ソル・ベルテ」が6月に芦別市で開催された北空知地区予選で優勝し、選手たちが全道大会に向けた意気込みを語りました。

同クラブに在籍する妹背牛小の児童は3人。7月22日、妹背牛町役場を訪れた選手たちは、地区予選で発揮した持ち前の高いディフェンス力とチームワークを生かし、全道大会で活躍することを誓いました。

旗の波で安全運転を呼びかけ



旗の波街頭啓発で、道ゆくドライバーに安全運転を呼びかける参加者たち

夏の交通安全運動（7月13日～22日）期間中、妹背牛町内の関係団体が道道深川雨竜線沿いのわかし愛もせうしひろば前で旗の波街頭啓発を行い、道ゆくドライバーに安全運転を呼びかけました。

同運動は、飲酒運転の根絶やスピードダウンの徹底などが重点。14日の街頭啓発では、交通安全協会や老人クラブ連合会など各団体のメンバーが「交通安全」と書かれた黄色い旗を持って、沿道に並びました。

農林水産大臣政務官が妹背牛牧場を視察



庄子・農林水産大臣政務官（左）と
懇談する佐々木さんご夫妻

庄子賢一・農林水産大臣政務官が7月24日、家畜を快適な環境下で飼育するアニマルウェルフェアを実践する妹背牛牧場を訪れ、酪農業の生産現場を視察しました。

佐々木亮太さん、牧子さんご夫妻が牧場内を案内。適宜刈り取りを実践する自給飼料へのこだわりや牛を第一に考えた飼育方法を聞いた庄子農林水産大臣政務官は「牛に対する究極のサービス業が良い結果につながっている」と、話しました。

保育所で七夕イベント



盆踊りを楽しむ園児たち

認定こども園妹背牛保育所で8月7日、七夕にちなんだイベントが開かれ、浴衣姿の園児たちは大きな輪をつくり、盆踊りを楽しみました。

この日はあいにくの雨だったため、屋外で予定していた行事を園舎ホールで行うことに。「大金持ちになれますように」「アニメキャラクターのグッズがほしい」などと、園児たちが願い事を書いた色鮮やかな短冊が飾られ、七夕の雰囲気盛り上げました。

商工会ビールパーティー 盛況



現金つかみ取りで盛り上がる来場者

妹背牛商工会青年部・女性部のチャリティービールパーティーが7月25日、町民会館で開かれ、友人や職場の仲間と訪れた人たちが楽しい時間を過ごしました。

会場の駐車場にはキッチンカーが並び、冷たいビールを手にとりながら、バンド演奏や現金つかみ取りが行われ、盛り上がりを見せました。なお、収益金の一部は「手をつなぐ親の会」に寄付されました。

平和を願い 妹背牛町でもリレー



役場前を出発し、北竜町へ向かう妹背牛町役場の職員

平和への想いをつなぐ「反核平和の火リレー」が道内各地で行われ、妹背牛町には7月24日に「平和の灯」が到着しました。

戦争や核のない世界の実現を求める同リレーは、7月22日に宗谷管内幌延町をスタートし、8月10日に札幌市へゴールする日程で開催。

妹背牛町のランナーは、町役場職員の渡邊亮太さん、川村晴子さん、田中沙奈さんの3人で、深川市から引き継がれた火を北竜町へ届けました。